

学校教育だより

こころ豊かに学び、厚沢部町の未来を拓く人を育みます

令和4年 1月28日

第26号

発行 厚沢部町教育委員会

小中学校、3学期スタート

新型コロナウイルスの感染者数が急激に増加する中、学校は1月19日(水)に3学期を迎えました。

これまで感染の広がりがあまり見られなかった檜山管内においてもクラスターが発生するなど、全国・全道の状況と変わらない感染増加があり、誰もがいつ感染するか分からない状況と言えます。

感染力の強い変異株であっても、子供たちの学びをとめることのないよう、マスクの着用や石鹸による手洗い・手指消毒、換気等の基本的な感染対策を徹底していきます。

そして、これまで同様に感染者や濃厚接触者が、根拠のない情報に基づく差別・偏見・いじめ・誹謗中傷などの対象にならないようにするとともに、地域の皆様におかれましてもご理解ご協力をお願いいたします。



3学期始業式：鶯小学校



3学期始業式：館小学校



学校では、コロナ禍において様々な状況を想定する中、児童生徒が登校困難な状況となった場合、オンラインで学習活動ができるよう準備を進め、昨年9月下旬には学校と家庭を繋ぐ接続テストをすでに実施済みです。

3学期も児童生徒が安心・安全に教育活動に取り組めるよう努めますので、保護者・地域の皆様におかれましても各校の教育活動にご理解ご支援を引き続きお願いいたします。

スキー授業各校一斉に！

今年は積雪が多く、連日の除排雪にたいへん苦勞されていることと思います。

一方、3年ぶりにオープンした太鼓山スキー場でスキー・スノーボードを満喫している方も多くいらっしゃるのではないのでしょうか。

3学期がスタートした小中学校でも、スキー授業が始まりました。子供たちそれぞれのスキー技術の向上を目指すとともに、怪我無く楽しく滑ってほしいと思います。各学年、それぞれ2回の授業が予定されています。



厚沢部小学校スキー学習

自然・文化体験と自尊感情 ～文部科学省追跡調査報告～

毎年、町の子供たちは、田植えやカワヤツメ放流、喜多里のいも植え・収穫体験、職場体験等、地域の協力による様々な活動を体験し、自然の大切さや他者と協働することの重要性等を学んでいるところです。

昨年9月、文部科学省は体験活動に関する追跡調査の研究報告を発表しました。2万人以上の子供(0～18歳)を規模に、体験活動が成長に及ぼす影響や関連性についての調査で、この規模は文部科学省では初めてのものです。

調査によると、小学生の頃に多くの体験活動(自然体験、社会体験、文化的体験)等をしてきた子供は、高校生の時に自尊感情(自分に対して肯定的)等の項目に高い傾向が見られ、体験活動の重要性を裏付ける調査結果となっていました。

コロナ禍の中、感染防止対策を取りながら体験活動の機会を提供していただいた保護者・地域の皆様には心から感謝を申し上げますとともに、今後も学校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

学校行事

新入生説明会…	2月1日(火)鶺小、2月2日(水)厚沢部中 2月8日(火)館小・厚沢部小
卒業式…	3月15日(火)厚沢部中 3月18日(金)鶺・館・厚沢部小学校
修了式…	3月25日(金)小中学校

